未利用熱に関する覚書

株式会社●●●●●●●（以下甲と呼ぶ）が株式会社▲▲▲▲▲▲▲（以下乙と呼ぶ）に対して供給する熱は、未利用熱の定義を満たすことについて確認及び合意をしたので、ここに覚書を作成する。

記

|  |
| --- |
| （甲が未利用熱を供給する工場等　：その工場等の名称及び工場等がある所在等） |
| （乙が未利用熱の供給を受ける工場等：その工場等の名称及び工場等がある所在等） |
| （対象となる未利用熱の情報）　【記載例】甲が保有する石油製油所の石油精製の過程で生じる廃熱を、隣接する丙が所有する工場まで３ｋｍの配管で輸送し、ボイラー給水の加温に活用。未利用熱を購入した年度：●●年度　未利用熱の購入量　　　：●●ＧＪ未利用熱の換算係数　　：●●ＧＪ/ＧＪ |

※未利用熱の定義

本制度の対象となる未利用熱は、『他事業者へ提供しなければ、省エネ法判断基準に従って取組を行っても発生を抑制できず廃棄することが見込まれる熱』をいう。

以上、上記条件を満たすことについての確認及び合意成立の証として、本覚書２通を作成し、甲乙各々記名・捺印の上、各１通保有する。

●●年●月●日

甲

住所

氏名

印

乙

住所

氏名

印